江津市立中学校における部活動の地域連携・地域移行に係る方針（概要版）

【国の理念】

生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して楽しむことができる持続可能な環境の整備を図る。

【島根県・江津市としての方針】※詳しくは江津市教育委員会 HP 掲載中

令和12年（2030年）「島根かみあり国スポ・全スポ」開催年を見据えて，段階的に体制整備を行う。

◆子どもたちの活動機会の確保・充実 ◆地域全体の活性化 ◆スポーツ・文化芸術活動の振興

【江津市としての今後の取組】

・受け皿の団体確保
・活動方針等の確認
・地域指導者の確保
・教職員の兼職，兼業の検討
・予算措置
・生徒の送迎
・教職員，保護者等への周知
など

江津市中学校部活動
地域連携検討協議会

・島根県教育委員会
・スポーツ庁
・文化庁
・文部科学省
・中学校体育連盟
・市小・中学校校長会
・各競技団体 など

【江津市としての取組（現状）】

○「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」

令和6年度 「江津市中学校部活動地域連携検討協議会」を設置

委員：12名　事務局：江津市教育委員会

方針 ・学校の部活動を基盤として地域連携，地域展開を進めていく。

・各部活の状況を踏まえ，各競技性や活動の特性に沿って具体策を検討していく。

具体（現在）

・地域クラブへの移行（柔道・モデル地域クラブ）・・・県中体連への申請・承認

・拠点校方式の段階的な導入の検討

＜拠点校方式＞

生徒が在籍している学校に希望する部活動がない場合，該当生徒を拠点校部活動を実施する学校が受け入れるものである。（就学指定中学校や在籍中学校の変更は必要なし）

【学校における部活動の現状】

○部活動は生徒の自主的・自発的な参加によって行われるものであるとともに，学校教育の一環であり，教育的意義を有する活動である。

○「少子化の進展」や「教職員の働き方改革」を進めるうえでも，現行体制による部活動運営は継続できにくい状況にある。